

第 313 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 27 年 7 月 7 日 (火) 11:50~13:30
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix WONDER' 69
[放送日時] 平成 27 年 6 月 27 日 (土) 11:00~12:55
[出演者] 久保ひとみ
ユーコタケダ
コトブキツカサ
4. 出席者 [委員] 委員長木宮敬信 委員 山本リサ 委員 服部乃利子
[会社] 代表取締役社長 営業本部長 上野豊
常務取締役業務推進本部長
兼放送事業本部長兼技術部長 竹内照夫
編成制作部副次長 鈴木秀明
編成制作部副部長 寺田和史
5. 事務局報告
 - 聴取率調査の件
 - 連盟賞の件
6. 番組審議
[対象番組] K-mix WONDER' 69
[放送日時] 平成 27 年 6 月 27 日 (土) 11:00~12:55
[出演者] 久保ひとみ ユーコタケダ コトブキツカサ
[番組内容] 共に 1969 年生まれの久保&ユーコが時に仲良く・時に
激論を交わしてお送りする情報バラエティ。
4 月からはマンスリーゲストとして、県内出身の「映画
パーソナリティ」コトブキツカサが登場！

[聴取・合評での主な意見]
山本委員 2 人による番組オープニングは、相変わらず勢いがある。コトブキのト
ークは、最初しゃべりすぎかと感じたが、他 2 人の合いの手もあって良
くなった。「処方箋映画」は、初見とは思えない程の知識量だ。紹介され
た作品を観たくなる。女性 2 人も良いが、男性が入ることでバランスが
さらに良くなる。

服部委員

勢いがあるってバラエティ感もある。放送時間帯に合っている。女性 2 人の声質が似ていると感じたが、聴き進むうちに 2 人のパーソナリティの違いがわかって違和感はなかった。コトブキのコーナーでは「映画」にフォーカスしているのでブレがない。今回処方された 3 本は私も観ているが、コトブキの解説の通りである。映画ファンでもそうでなくても、来月も聴きたくなるコーナーだ。

木宮委員長

同性 2 人の進行にはこれまで賛否もあったが、男性が入ることで面白くなると感じた。映画以外のジャンルでも、この組み合わせは可能性を感じる。コトブキの登場コーナーを、もう少し離してみてもいいか？ 処方箋映画の参加メールが、更に増えるだろう。また、番組のコンセプトが「ちょい古」なので、彼が紹介する作品も少し古い映画であっても良いと感じる。また、処方箋映画の紹介があまりに流暢で、事前準備があるように感じてしまう。リスナーと電話をつないで直接相談を受けるのもいいかもしれない。全体的にはテーマが統一されており聴き易い。今後に期待を感じる男性パーソナリティだ。

会社サイド

前回（第 312 回）では、柴野のバランス感覚に好評価をいただく一方、わたなべのしゃべり口調や、節度ある決まり事の中での自由度、などについてご指摘を頂きました。今回（第 313 回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成 27 年 9 月 8（火） 11:50～13:30 を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信